

Graduated

米山和恵
泉 香織
高木みどり

「キャリア発見塾」卒業生からのメッセージ

■米山 和恵

昨年、秋。私は双六の駒だった。サイを振るのは他人。進めと出れば前進前進、戻れと出れば後退後退。“働きたい『私』”と“母としてこうありたい『私』”の狭間で葛藤していた。行動とは裏腹に、私の「心」は周りの言葉に揺さぶられながら右往左往していた。そんな私の目に映る「社会」とは太刀打ちできない鬼だった。

キャリア発見塾で得たものは大きく4つ。「男女平等参画社会」、「私」、「自信」、そして「つながり」である。

初日、参画プラネットの活動の目的を目にした時、大きな衝撃を受けた。「『個』としての能力を最大限に活かすことのできる社会を目指す」それは、小さな頃から抱き続けながらも表現できなかった「心」を吹き飛ばしたからだ。なぜ、ここへ来ると『私』は納得して帰るのか。その理由が分かった。鬼の前で萎縮して生きるのではなく、私が『私』として生きていいのだ、という大きな答えを得た。「男女平等参画社会」という堅苦しい単語の中には私が探していたものがあつた。

キャリア発見塾には角度は違いながらもそこに関心を持った者が集まる。そこで語られた言葉には多くの“共感”があり、それは私が表現する事ができなかった言葉たち。それらを得ながら、考え、そして私自身の言葉を発することで、私は『私』を深めることができた。アサーティブという自己表現の“方法がある”と知ったことも、『私』の深め方を知ることができたということだ。

出産を機に仕事を辞めて3年が経っていた。その3年は自分の納得の上の時間とはいえ、社会活動とは分断された3年だった。その状況の中で、「社会の中の『私』」を想像してもまったく自信が持てず、それまで得てきた経験すらも、「あれらは無駄だったのか」と思われていた。インフォメーションにおけるインターンシップは、その自信の無さを解消してくれた。実際にセンターを訪れる方々と接し、そこで働く方々と時間を共にする。3日間は短いかもしれない。それでも、その経験は「分断前」と「今」の『私』の3年間をつなげるには十分な時間だったと思う。

今、一番大切にしているもの。それは「つながり」である。キャリア発見塾で人と出会いそしてつながっている。知識、情報、経験と出会い、それは今の『私』へとつながっている。

現在、夏。『私』は参画プラネットで働いている。日々の中に学びと出会いがあり、それをつなげていく努力をしている。その「つながり」こそ『私』が納得した未来へとつながるものだと確信している。社会は鬼ではなくなった。「『私』から始まる社会がある」と考えている。

■泉 香織

「アサーション」「アサーティブ」、この言葉を初めて聞いたのは、3月5日の「キャリア発見塾」でした。この、自分の気持ちを素直に出しても構わない、といういくつかの言葉に肩の荷が下りたような気持ちになりました。また、「私は」（または誰々は）という主語をきちんとつけることで、誤解されにくくなる、と言うこともこの前後に聞いたと思います。今、自分の意見を相手に伝える際には、これらをできるだけ使うよう心がけています。それだけでも、ずいぶんと自分の意見として伝えられるようになったのではないかと思います。

ところで私には今、小1になる息子がいるのですが、通っていた園や学校で、「人とのコミュニケーションのとり方」について学ぶ機会があり、正直驚いています。先日見た子ども向けのテレビ番組でも、友達との付き合い方のスキルとして「相手の話を最後まで聞く」ということを教えていました。いかに、今の大人たちがそれで悩んでいるか、ということでしょう。私も子供と一緒に私も学ぶ気持ちで、それらの話を聞いています。

やはり、毎日の挨拶から始まる、直接人と接することで学んでいくことは大切だと思います。これからも直接人と話をする…必要最小限なことを伝えればいいのかではなく、むしろ、日頃からのちょっとした声かけが大切なのではないかと…を心がけていきたいです。

その第一歩は「おはようございます」などの挨拶、だと思います。

これからは自分の考えを相手に気持ちよく伝えられたら、と考えています。

■高木 みどり

今振り返ってみると「わたしのキャリア発見塾」が確実にステップになったと思っています。

参加当初は、子どもを預けて本当にちゃんと働けるのか不安がありました。定期的にセンターに通うことで不安が軽減されたと思います。今では子どもは保育園に通い、私は働くことができました。

セミナーやインターンを通して自分の働き方や職場の選択についても考えさせられました。「わたしのキャリア発見塾」に参加していなければ、参画プラネットで働くことができなかったかもしれないと思うと私にとってはとても大きなチャンスを与えてもらったと思っています。

「わたしのキャリア発見塾」に参加して感じたいろいろなことが、今の自分には少し形になった気がして嬉しく思っています。

9月には、出産予定です。今後は、出産後の再チャレンジが待っています。期待とともに不安もあります。今回の経験を自分のエネルギーにしていきたいです。

わたしのキャリア発見塾
～チャレンジ終了証～

新しいことに、一步を踏み出そうとするとき、
だれもが不安や、緊張を覚えます。
だけど、そこで踏みとどまったとしたら、
世界は決して、拓かれることなく、
可能性のトビラも、閉じたままなのです。

この、キャリア発見塾に、
一步を踏み出してくださったあなたは、
自分のキャリアと、可能性のトビラを、
もうすでに、自力で開き始めました。

春がやってくるのと一緒に、
次のチャレンジが、あなたを待っているはず。

もう一步踏み出すステップが、
今はまだ、はっきりと見えていなくても、
決して心配はしないでください。
何より大切なのは、自分で決断する力。
自分から求める気持ち。
それを、あなたはもう、十分に持っていますから。

不安になったら、
いつでも、あなたを応援する人間が、ここに居ます。
あなたはひとりじゃないよ。一緒に、前に進もう。

2008年3月26日

特定非営利活動法人参画プラネット キャリア発見塾サポーター

伊藤 静香
中村 奈津子

